

P 4 支援する人を支援する社会を目指して
ボランティア数減少の原因と背景

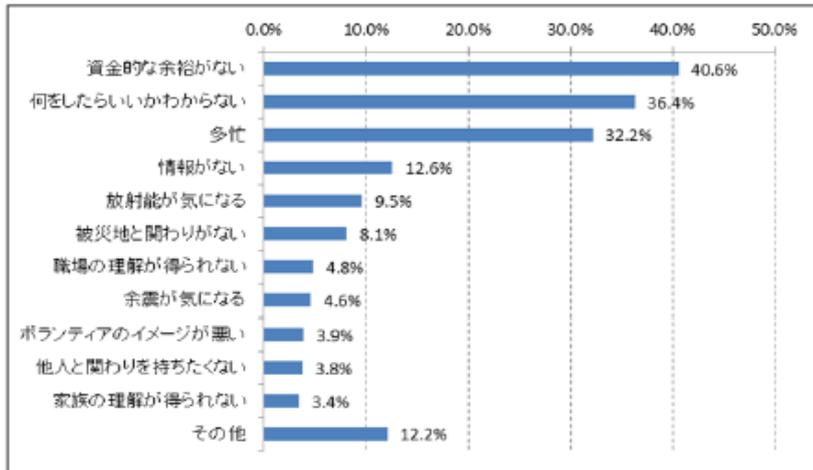
内閣府「東日本大震災における共助による支援活動に関する調査報告書～支援側及び受援側の意識の変化について～」平成25年10月内閣府防災担当
<https://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentokai/hisaihashien2/pdf/dai2kai/sankou8.pdf>

2 支援側に対する調査 (7) 支援活動を行わなかった理由

支援活動を行わなかった理由としては、「資金的な余裕がない」、「何をしたらいいかわからない」、「多忙」、「情報がない」等が多い。「資金的な余裕がない」という回答は、交通費や宿泊費等が支援活動開始に当たっての大きなボトルネックとなっていることを浮き彫りにしている。また、「何をしたらいいかわからない」及び「情報がない」という回答は、適当な情報に触れる機会がなかったこと等が原因である可能性がある。

今後、支援活動の裾野を広げていくためには、学生等が支援活動を行うに当たって、経済的な援助を受けられるような環境を整備し、ボトルネックとなる要因を取り除くとともに、関係情報の発信を増やし、支援側の意識を高めることが必要である。

図表 12 支援活動を行わなかった理由



(注) n=1,111、複数回答可

における による
に する

~ び の の について~

(7) を わなかつた

を わなかつた としては、「 な がない」、「 をしたらいいかわからない」、「 」、「 がない」 が い。「 な がない」という は、 や が に たつての きなボトルネックとなっていることを き りにしている。また、「 をしたらいいかわからない」 び「 がない」という は、 な に れる がなかつたこと が である がある。

、 の を げていくためには、 が を うに たつて、 な を けられるような を し、ボトルネックとなる を りくとともに、 の を やし、 の を めることが である。

2 (1)で「 をやっていない」と した についてみると、を わなかつた としては、「 な がない」(40.6%)、「 をしたらいいかわからない」(36.4%)、「 」(32.2%)、「 がない」(12.6%) が い(12)。

まず、「 な がない」という は、 や が に たつての きなボトルネックとなっていることを き りにしている。また、「 をしたらいいかわからない」 び「 がない」という は、 に するニーズ の の により、 な に れる がなかつた はそのような が なかつたこと が で に り む を った がある。

その、「 の が られない」(4.8%)と「 の が られない」(3.4%)のようにまわりの が られないことも となっている。

としてみると、 、 、 が にあるほど に り みやすい になると われる。 の を げていくためには、 えば、 が を うに たつて、 や の な を けられるよう な を したり、 による を う への を する して、 に り むに たつてボトルネックとなっている を りくとともに、 の を やし、また、その を することによって、 の を め、 に しやすく、また、 や の が られやすい を することが である。